

# 令和4年度 横浜市立港北小学校「交通バリアフリー教室」の実施報告

## はじめに

- 横浜市都市整備局都市交通課は、国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局などと連携し、横浜市立港北小学校で「交通バリアフリー教室」を実施しました。
- 港北小学校は、東急東横線の妙蓮寺駅を最寄り駅とし、周囲は閑静な住宅街となっています。小学校近くの水道道や綱島街道は多くのバスが通っています。

## 1 交通バリアフリー教室の全体概要

【日時】令和4年9月6日（火）8:55～12:15

【対象】港北小学校 5年生 129人

【内容】①タクシー・バスのバリアフリーに関する座学

- ②タクシー車両を活用した車いす乗降体験・介助体験
- ③車いす乗車体験・介助体験
- ④視覚障害者体験・介助体験

【協力】国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局  
一般社団法人神奈川県タクシー協会  
三和交通株式会社



【学校へのアクセス】（出典：地理院地図）  
東急東横線妙蓮寺駅から徒歩3分

- 交通バリアフリー教室は、クラスごとに分かれ、知識を学ぶ“座学”と、アイマスクや実際の車両や車いす等を使った“体験”で構成されています。
- 座学の時間は、横浜市都市整備局都市交通課が担当し、タクシーやバスのバリアフリーのことや、関連する知識を学んでいただきました。
- 体験の時間では、タクシー事業者である三和交通株式会社の協力のもと、2台のユニバーサルデザインタクシー（UDタクシー）を校庭に用意し、ユニバーサルデザインタクシーの機能を間近で見たり、実際に車いすに乗って車いすの操作や乗降を体験したりしていただきました。また、体育館にて視覚障害者体験・介助体験、車いすの乗車体験・介助体験も行いました。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分留意して実施しました。



全体説明



UD タクシー乗降体験



視覚障害者体験

## 2 タクシー・バスのバリアフリーに関する座学の内容

- 座学では、タクシー・バスのバリアフリーについて、スライドを用いた授業を行いました。
- 同日に体験するユニバーサルデザインタクシーのこと、バリアフリー対応のバスのことなどを、写真やクイズを交えながら説明するとともに、このような身近な乗り物がどうしてそのように作られているかを考えてもらい、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方について学んでもらいました。
- バスやタクシーなど公共交通におけるバリアフリーの現状に加え、公共交通の現状（利用者数の推移等）もお話しました。バスの利用者がどうして減少してしまっているのか、このまま減少してしまったらどうなるのか、子どもたちに意見を述べてもらいました。「バス路線がなくなってしまうとバスを利用したい人が困ってしまう」といった意見がありました。
- マイカーも含め、様々な移動手段がある中で、それぞれの良い点・あまり良くない点を理解し、目的や行き先に応じて公共交通をかしこく使う「モビリティマネジメント」の考え方についても伝え、授業を終えました。

## おわりに

- 今回の交通バリアフリー教室で視覚障害者体験や、車いす体験・介助体験を行い、車いすの方の介助の難しさ、大変さについて、身をもって感じた子どもたちがたくさんいたようです。また、身近な公共交通であるバスやタクシーにおいて、障害者はもちろん、誰もが同じように乗ることができることを理解してもらいました。
- 交通バリアフリー教室を通して知ったこと、体験したことがきっかけとなり、バスやタクシーなどの公共交通を上手に使うとともに、普段の生活の中で、困っている人がいたら積極的に手助けを行うことを期待します。

### ■ 座学に使った教材



### ■ 座学の様子

